

州別	一九一二年	一九一三年	一九一四年	一九一五年
マサチューセッツ	一七、三六六	一八、一〇〇	一八、五九四	一九、〇〇一
コンネクチカット	一、九三九	二、一七六	二、一五九	二、〇四〇
ニウヨーク	三、六八七	三、九四〇	三、七三三	三、七〇六
ニウジージー	一、三三三	一、三九四	一、三九四	一、三九四
ペンシルバニア	二、九四六	二、九四六	二、九四六	二、九四六
メリーランド	二、九四六	二、九四六	二、九四六	二、九四六
バージニア	二、九四六	二、九四六	二、九四六	二、九四六
アラバマ	一、八二六	一、八二六	一、八二六	一、八二六
ウェストバージニア	二、七四〇	二、七四〇	二、七四〇	二、七四〇
ケンタッキー	六、八七〇	六、八七〇	六、八七〇	六、八七〇
ミシシッピ	三、八八三	三、八八三	三、八八三	三、八八三
テネシ	三、八八三	三、八八三	三、八八三	三、八八三
オハイオ	六、八七〇	六、八七〇	六、八七〇	六、八七〇
イリノイ	二、八八三	二、八八三	二、八八三	二、八八三
インディアナ	一、七〇六	一、七〇六	一、七〇六	一、七〇六
ミシガン	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇
ウイソコンシン	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇
ミネソタ	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇
ミズーリ	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇
コロラド	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇
アリゾナ	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇
カリフォルニア	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇	三、〇三〇
計	二九七、七三三	三〇九、六六一	三〇九、六六一	三〇九、六六一

丙 一九一四年 合衆國鉄鐵各種別兩年生産比較統計(噸)

備考(+)は増(ー)は減

種別	一九一四年 生産額	一九一五年 生産額	兩年比較 増減額	同上増減 百分比
ペーシタ鉄	九六七、〇六七	一、〇〇三、三三四	三、三六三	三、五九〇
ベスマー鉄	七、八五九、一三七	一〇、五三三、三〇六	二、六七四、一七九	三、三九〇
鑄物鉄	四、三三三、五五〇	四、八六四、三三八	五、三三〇、八三八	七、三三〇
可鍛鑄鉄	七、二七一	八、九三二	一、七六一	三、三三三
鏡鉄	七、九八五	九、七八八	一、八〇三	三、三三三
鍛煉用鉄	五、一五五	三、六二四	一、五三一	二、九三三
滿庵鉄	一〇、八〇三	一、九〇七	八、八九六	八、一三七
其他	四、九七六	六、二五三	一、二七七	二、五三七
計	三三、三三三、三四四	三九、九二六、二二三	六、五九二、八八九	一九、七三七

露國の鐵需給

産出及販賣狀態 千九百十三年より同十四年に亘り露國內に於ける鐵及鋼鐵其他の産出並に販賣數量を示せば左の如し。(以下單位百萬ブード)

品目	産出額		販賣額	
	一九一三年	一九一四年	一九一四年	一九一三年
鑄鐵	二、三〇〇	二、四四一	七〇五	五九八
半製鐵及鋼	三、〇〇二	二、九四一	四、一	五、四
精製鐵及鋼	二、四六六	三、九七	二、九三	一、八二四
條	一、七二	一、五九	一、六〇	一、五〇
大形軌條	三、五九	三、九	三、八	三、七〇
帶	八、五五	六、六	六、五	五、四
線	一、八二	一、四四	一、五	一、〇
屋根用鐵	三、五三	三、九	二、四	三、九

又一九一四年前半期に於ける鑄鐵精製鐵及鋼鐵の産出額を、前年及前々年同期と比較表示すれば次の如し。

品目	一九一二年	一九一三年	一九一四年
鑄鐵 鍊出量	一、二六、五	一、四一、六	一、四四、四
精製鐵及鋼 産出量	一、一〇、六	一、一九、九	一、三三、一

七月中央戦争開始せられて以來波蘭に於ける諸鑛山及工場の事業を中止するに及び、同地方は精製鐵及鋼産出額は全國の二億三千萬留なるに對し、單に千五百萬留より千七百萬留に止まれるに拘らず尙ほ國內の鐵産出額に尠からず影響を及ぼせり、固より右地方の工場其他の材料を他地方へ移轉するの不可能の業にあらざりしも、鐵道運輸か不充

分其他の事由のため之か實行に非常の困難を感じたると、一方豫後備役に在る一般就業者の召集せられたるがため開戦以後産出額に減少を來したるは左に示す所の如し。

鑄鐵產出額地方別比較表

地方名	一九一三年	一九一四年
南部露西亞	一八九七	一八六、二
烏拉爾	五五、八	五二、四
莫斯科附近地方	一一、八	一一、五

然るに精製鐵及鋼に至りては各地方必ずしも悉く退勢を示す者にあらざるは、左表に依りて明かなるへし。

精製鐵及鋼產出額地方別

地方名	一九一三年	一九一四年
南部露西亞	一四一、〇四	一四三、九九
烏拉爾	四〇、八一	四〇、六〇
莫斯科附近地方	一一、一〇	一一、九〇
ヴォルガ河流域	一〇、〇七	一〇、一四
北部及バルチック	一六、四四	一五、八二
海沿岸地方		

外國品輸入狀態

翻つて精製鐵及鋼の外國よりの輸入は、千九百十四年に至りて甚たしき増加を見歐露へ前者の輸入額千九百十三年に於て二百八十萬ブードなりしもの、同十四年には四百九十萬ブードに上り鋼は十年に於て二百萬ブードなりしもの、十四年には二百七十萬ブードに増加せり、又千九百十五年一月以降四箇月間の輸入額は、前年同期の二百七十一萬八千ブードなりにしに對し九十四萬八千餘ブードに減退せり、而も國內の在荷額前年五月一日に於

て二千九百九十萬ブードなりしもの、十五年同期には二千七百三十萬ブードに増加し居たるに徴するときは、右の輸入減退は偶然ならずと謂ふへし。

鑄鐵及精製鐵及鋼產出及在荷

品名	一九一四年		一九一五年	
	初四ヶ月	五月一日	初四ヶ月	五月一日
鑄鐵	九五、八	二七、九	七七、五	三〇、二
精製鐵及鋼	八五、八	二〇、九	六六、三	二七、三

尙各年度に付製品目別に依り其產出及び在荷額を表示すれば次の如し。

△十四年及十五年初三箇月比較

品名	一九一三年		一九一四年	
	年終	在荷額	年終	在荷額
條	一七、五	一、六	一五、九	一、八
大軌條	三五、九	三、二	三九、九	四、〇
帶	八五、五	八、八	七六、七	一〇、一
鐵及鋼厚鐵	二三、一	一、八	二六、一	二、五
鐵及鋼薄鐵	四、六	〇、九	五、一	一、一
屋根用鐵	二五、三	三、五	二三、九	三、八

品名	一九一四年		一九一五年	
	初三ヶ月	四月一日	初三ヶ月	四月一日
條	五、四	一、六	二、一	二、〇
大軌條	八、六	二、四	九、五	四、一
帶	二三、五	八、五	一五、〇	一一、一
鐵及鋼厚鐵	六、九	一、八	五、二	三、二
鐵及鋼薄鐵	一、六	〇、九	一、一	一、二
屋根用鐵	六、八	四、二	五、三	五、四

市價の變遷 終りに商工新報の調査に基き鐵類各品の相場を示さんに、鑄鐵は千九百十四年六月、十月、十一月に於てブードに付七十三哥より七十四哥の内を示し、同年七月には七十五哥と爲り十五年六月、十月には八十二哥より八十八哥の間を上下し十一月には八十三哥より九十哥に至

れり、帶鐵は千九百十四年六月、九月に於てブードに付一留五十三哥より一留五十八哥を唱へ、爾後年末まで一留六十三哥又は一留六十八哥の間にありたりしが、十五年七月には一留九十哥の高價を唱ふるに至れり。

(大正五年五月官報)

●輸出入貨物品別表

(大藏省發行の大正五年三月外國貿易月表中鐵及鋼に關するもの左表の如し)

第一 輸出貨物品別表

内 國 産 品	大正五年三月		大正五年累計		大正四年三月	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵 管(斤)	一三〇,四八八	九,四五四	八〇三,三二六	七,一四七六	九四,五二二	一一,〇七五
屑 鐵 及 故 鐵(斤)	九九一,八六八	四八,九三三	二,五三〇,八三八	一〇六,三六八	三,六六四,三七八	七五,六三六
鐵 鍋 及 鐵 釜		二二,六三〇		五三,七四五		一三,七三九
鐵 製 品		七二七,〇七三		一,五四九,三二五		三三〇,九二〇
人 力 車(輛)	四九七	一四,三三四	一一六	三八,九三三	一,三三三	四二,〇七五
船 舶(汽船)	二	三,〇〇〇	三	二五三,〇〇〇	一	一一〇,〇〇〇
同 (其他)		一,五三三		二,四九〇		一,二五六
機械同部分品及附屬品		一,三六七,七八二		三,三七一,四五四		一,四八一,五四三
石 炭 コ ー ク ス(噸)	石炭 二九四,九三九 コークス 二七〇	一,九二七,六七五 五,三四二	八一五,九八〇 六九三	五,三〇六,七六〇 一四,〇〇五	七三三,四七〇 五一四	四七八,八九一 九七一

第二 輸入貨物品別表